

PARS について

PARS 委員会

【PARS (パーズ) とは】

Pervasive Developmental Disorders Autism Society Japan Rating Scale の略称で、日本語では「広汎性発達障害日本自閉症協会評定尺度」と呼びます。広汎性発達障害 (Pervasive Developmental Disorders) の支援ニーズを評価するための評定尺度です。

【開発チーム】

栗田広を代表として、杉山登志郎、市川宏伸、内山登紀夫、神尾陽子の 5 名の児童精神科医、安達潤、井上雅彦、辻井正次の 3 名の発達臨床心理学者、統計分析の行廣隆次の合計 9 名 (敬称略) で構成されています。

【PARS の概要】

- ◆ 広汎性発達障害児者の行動理解を進め、彼らの支援を可能にしていくために、日常の行動の視点から、平易に評定できる尺度を提供することを目指して開発しました。
- ◆ 評定項目の選定は、8 名の自閉症・広汎性発達障害の臨床研究を専門とする 10 年以上の経験をもつ児童精神科医および発達臨床心理学者が担当しました。
- ◆ 評定項目は、1) 対人、2) コミュニケーション、3) こだわり、4) 常同行動、5) 困難性、6) 過敏性の PDD に特徴的な 6 領域 57 項目で構成されます。なお、5) の「困難性」の項目は、PDD に特有の適応困難特性であり、不器用さや PDD に見られやすい併発症などを含んでいます。
- ◆ 安達ら (2008) に詳細は示していますが、PARS 短縮版を作成し、幼児期 12 項目、児童期 12 項目、思春期 12 項目でより簡易に評定ができるようにしています。
- ◆ 評定は、広汎性発達障害もしくは広汎性発達障害が疑われる当事者 (子ども、青年、成人) の保護者 (母親など) に面接して、専門家が行います。
- ◆ PARS 委員会では、2009 年に「マニュアル」の刊行をめざします。

【販売について】

2006 年 8 月当初、PARS は社団法人 日本自閉症協会から出版されていましたが、2008 年 6 月、短縮版を組み込んだ版を完成し、その編集・制作・販売より、版元を株式会社 スペクトラム出版社といたしました。販売対象を専門家に限定し管理するために、スペクトラム出版社のみでの販売となります。

ご注文は、<http://www.spectpub.com> にアクセスし、PARS のボタンをクリックして、申込書を開き、プリントした上で、必要事項を記入し、ファックスしてください。

【活用の仕方に関する研修セミナーについて】

♠ PARS については、開発にかかわった PARS 委員会メンバーが、各々の地域に関連する NPO などと共同して研修セミナーを開催しており、そうしたセミナーに参加することで学ぶことができます。

♠ たとえば、NPO 法人アスペ・エルデの会に運営を委託した形でセミナーを実施していますが、各地の医師会や大学の医局で出張セミナーを実施することもあります。その場合、実際に当事者の家族（おもに広汎性発達障害の子どもをもつ母親）のご協力を得て、ライブでの聴取を実施し、そこで評定の実際や支援の方向性などと交えて議論するワークショップ形式で実施しています。地域のなかで、関係者が同じツールを学びながら用いていくことは地域のなかでの一定の広汎性発達障害理解のコンセンサスの基盤を得るにはよく、地域での支援をよりよくしていく一助となることが期待されます。

→以下をご参照下さい。

<http://www.as-japan.jp/j/file/2008/pars.html>

【お問い合わせ先】

スペクトラム出版社 メール mail@spectpub.com

電話 03-5682-7169 FAX03-5682-7157

※ご質問の内容によっては、PARS 委員会委員に転送され返答させていただく場合もございます。

PARS 文献（著者は PARS 委員会委員）

1. <http://ej.islib.jp/ejournal/1405100265.html>

神尾陽子, 行廣隆次, 安達潤, 市川宏伸, 井上雅彦, 内山登紀夫, 栗田広, 杉山登志郎, 辻井正次: 思春期から成人期における広汎性発達障害の行動チェックリスト: 日本自閉症協会版広汎性発達障害評定尺度 (PARS) の信頼性・妥当性についての検討. 精神医学 (ISSN: 04881281) 48 巻 5 号 (2006.05) 495-505 (ISID: 1405100265).

2. 辻井正次, 行廣隆次, 安達潤, 市川宏伸, 井上雅彦, 内山登紀夫, 神尾陽子, 栗田広, 杉山登志郎: 日本自閉症協会広汎性発達障害評価尺度 (PARS) 幼児期尺度の信頼性・妥当性の検討. 臨床精神医学 (ISSN: 0300032X), 35 (8), 1119-1126, 2006/8.

3. 安達潤, 行廣隆次, 井上雅彦, 内山登紀夫, 神尾陽子, 栗田広, 杉山登志郎, 辻井正次, 市川宏伸: 日本自閉症協会広汎性発達障害評価尺度 (PARS) ・児童期尺度の信頼性と妥当性の検討. 臨床精神医学 (ISSN: 0300032X), 35 (11), 1591-1599, 2006/11.

4. <http://ej.islib.jp/ejournal/1405101204.html>

安達潤, 行廣隆次, 井上雅彦, 辻井正次, 栗田広, 市川宏伸, 神尾陽子, 内山登紀夫, 杉山登志郎: 広汎性発達障害日本自閉症協会評定尺度 (PARS) 短縮版の信頼性・妥当性についての検討. 精神医学 (ISSN: 04881281) 50 巻 5 号 (2008.05) P.431-438 (ISID:1405101204)